

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
白 書		
中小企業白書 小規模企業白書 2022年版上	中小企業庁（編）	日経印刷
中小企業白書 小規模企業白書 2022年版下	中小企業庁（編）	日経印刷
人権教育・啓発白書 令和4年版	法務省・文部科学省（編）	勝美印刷
子ども白書 2022	日本子どもを守る会（編）	かもがわ出版
言 語		
令和4年公表「公用文作成の考え方」のポイントと文例	八木欣之介	新日本法規出版
経 済		
実践 医療現場の行動経済学 すれ違いの解消法	大竹文雄（編著）・ 平井啓（編著）	東洋経済新報社
教 育		
学校管理職・教育委員会のための いじめを重大化させないQ&A100	嶋崎政男	エイデル研究所
社 会		
地域包括ケアシステムの深化と医療が支えるまちづくり ソーシャルインクルージョンとSDGs	田中滋（監修）・ 田城孝雄（編）・内田要（編）	東京大学出版会
生活保護手帳 2022年度版	中央法規出版編集部	中央法規出版
生活保護のてびき 令和4年度版	生活保護制度研究会 （編）	第一法規

秋の知らせ

暑い日は続きますが、風が爽やかに感じられるようになってきました。

最近、気候変動の影響からか、お彼岸の頃になっても、まだまだ気温が高く夏のように感じる場合があります。そんな中でも、必ず咲いてくれる花がヒガンバナです。お盆になると鳴き出すツクツクボウシやお彼岸に咲くヒガンバナは、季節の移り変わりを忘れず私たちに知らせてくれることに、いつも感心します。

私が子どもの頃に住んでいた地域は、田んぼが多く、あぜにたくさんヒガンバナが咲いていました。風に揺れて、川沿いに咲き並んでいたのを今でも鮮明に覚えています。くるんと反り返った花びらから、おしべとめしべが弓のように長く伸び、繊細でどこか郷愁を誘う、私の好きな花の一つです。

日本でよく見られる深紅のヒガンバナですが、英語では、レッドスパイダーリリーと呼ばれています。なるほど「スパイダー」と呼ばれるだけあって、確かにクモの足のように見えます。ちなみに、紀南地域で海岸線によく見られるハマユウも同じヒガンバナ科の仲間となります。

昔、祖母から、「ヒガンバナには毒があるから触ったらダメだ。」と言われたことが印象に残っています。調べてみると、アルカロイドのリコリンという猛毒成分が含まれているそうです。その毒は薬に利用されたり、土蔵の壁に混ぜてネズミの侵入を防いだり、防虫対策にふすまののりに使ったり、あぜや土手に植え、ネズミやモグラの穴開け防止にしたりしていたそうです。ヒガンバナが墓地に多いのも、昔は土葬だったお墓を獣に荒らされないように植えたからなのですね。

昔の人は、知恵を巡らせ、備えをすることで、暮らしを守ってきたのでしょう。秋の台風シーズンに向けて、私たちも知恵を巡らせて、備えを万全にする必要があるのではないのでしょうか。

